

# Press Release

令和7年12月11日

## 附属高松中で2年生対象に生成AIを活用したキャリア教育授業を実施 ～性格診断×AIで広がる 中学生の未来の職業探究～

近年、生成AIの急速な進化は、社会や働き方の在り方を大きく変えつつあります。学校現場においても、AIと共に新たな価値を創造する力が求められる時代です。

こうした時代の流れを受け、今回香川大学教育学部附属高松中学校では、12月17日(水)に、2年生を対象に生成AIを活用したキャリア教育授業を行います。

本授業では、生成AIを活用したアプリを用いて自分の性格特性を知り、AIが提案する職業を通して自己理解を深め、自らの将来や社会との関わりを主体的に考える契機となることを目的としています。

本授業は、中学生向けの探究的な学習で、ソフトバンクロボティクスの人型ロボット「Pepper」(※下記参照)が登場し、生成AIの活用の利点や注意点をわかりやすく説明します。生徒は「プロンプト(指示文)」の工夫がAIの出力に大きく影響することなどを学び、AIを使いこなす力の基礎を身に付けます。また、香川大学教育学部が作成したアプリを用いて、10個の質問から自分の性格特性を診断し、生成AIが提案する5つの職業を手がかりに、友達や先生と意見を交わしながら自己理解を深めます。

AIの提案が唯一の正解ではないことを実感しつつ、「自分では気付かなかった自分」を発見する過程を大切にします。そして、生成AIを“正しく理解し、賢く活用する力”と“自分の未来を考える力”を育む、新しい時代の学びを目指します。

つきましては、是非取材くださいますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

- 名称 附属高松中学校における生成AIを活用したキャリア教育の実践
- 日時 令和7年12月17日(水) 13:05~14:55
- 会場 香川大学教育学部附属高松中学校 建心館

※取材の方は、正門(学校敷地西側)から入構いただき、職員駐車場の空いているところをご利用ください。その他関係者の駐車場は、うどん屋根っこ(学校北側)の西側の生徒送迎用の保護者駐車場となります。

- 参加対象者等 中学校2年生103名

※「Pepper」はソフトバンクロボティクスの登録商標です。Pepperを活用し当校が独自に実施しています。



取材申込はこちらから↓



### お問い合わせ先

香川大学 教育学部 教授 清水顕人

TEL: 087-832-1516

E-mail: shimizu.akihito@kagawa-u.ac.jp

香川大学教育学部附属高松中学校 教諭 高橋範久

TEL: 087-886-2121

E-mail: takahashi.norihisa@kagawa-u.ac.jp

# 【性格・職業診断アプリの活用と友人との対話によるキャリア形成】

## ◆第1時：生成AIを知る

- ・生成AIの仕組みについて学びます。
  - ・生成AIの利点・注意点について学びます。
  - ・生成AIの使い方について学びます。
- 生徒がこれから生成AIを使いこなすことを意識し、より実践的な視点から学びます。



## ◆第2時：生成AIを使う

- ・香川大学開発の性格・職業診断性格・職業診断アプリと生成AI(Gemini)を活用した授業です。
- ・新しい自分の性格に気付き、将来の職業について考えることを目的としています。
- ・授業の教育効果を測るために、クラスごとに条件を変更して授業を行います。



I組

性格・職業診断アプリ+生成AI(Gemini)使用

- ・性格・職業診断アプリを使用
- ・ネット検索+生成AI(Gemini)で調べ学習

2組

性格・職業診断アプリのみ使用

- ・性格・職業診断アプリを使用
- ・ネット検索のみ使用し、調べ学習

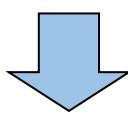
3組

アプリを使用せず、紙媒体の性格診断のみ使用

- ・性格・職業診断アプリを使用せず、1, 2組と同様の尺度のみ用いて、性格診断のみ行う
- ・ネット検索のみ使用し、調べ学習

※2, 3組の生徒も、3・4時間目は

アプリと生成AI(Gemini)を使用します。



## ◆第3・4時：生成AI×他者対話で自己理解を深める探求（取材可能です）

- ・生徒は自分の興味や課題意識に応じて自由に4つのブースを移動し、生成AIの活用と多様な他者との対話を通じて自己理解を深めます。

1. 性格・職業診断アプリの使用ブース

- ・2時間目で使用した性格・職業診断アプリを再度使用します。

2. Pepperとの対話ブース

- ・pepperとの対話を通じて、プロンプトの工夫などについて学びます。

3. 生成AI(Gemini)との対話ブース

- ・生成AI(Gemini)を使用した調べ学習を行います

4. 多様な他者（教員、大学教員、大学生、保護者）との対話ブース

- ・多様な視点から、自己理解を深めます。